

理事長就任にあたって

第 19 代理事長 山田 督 (大 19)

伝統と実績を誇る一般社団法人陵水会の第 19 代理事長に就任致しました山田でございます。元来、浅学非才で平々凡々な身であるため、理事長職は大変荷が重いのが実感です。しかし、お引受けした以上は母校及び会員の皆様にとって少しでもお役に立てるよう全力投球する覚悟でございます。どうか立派に職責を全うされた小梶理事長をはじめ歴代理事長の方々、理事・役員・支部長および関係各位の皆様方の絶大なるご支援、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

就任早々で抱負を語るにはまだまだ勉強不足ですが、出来れば次の 3 点に注力したいと考えております。

先ず第一点目は、母校支援の見直しと強化です。われわれは皆様のご協力により様々な支援を幅広く継続しており、母校からも高い評価を頂いております。しかし、われわれのリソースにも限界がありますし、母校が挑戦している文理融合大学への「大変革」を強力・全面的にサポートするには、われわれの支援パイプの「入（会費、寄付など）」と「出（助成など）」を抜本的に見直し、強化する必要があるのではないのでしょうか。時節柄、特に「入」の見直しは多大な困難を伴うと予想されますが、われらの総力を結集しチャレンジしようではありませんか。

二点目は、支部活動の一段の活性化です。一部支部では世代を超え大いに盛り上がっていますが、残念ながら大半の支部は若年層の無関心化や現役組の陵水離れに歯止めがかからず、年一度の支部総会開催に汲々としているのが現状かと思えます。勿論これは本部の問題であり対応を急ぎますが、支部あつての陵水会であることを考えれば原点に立ち戻り「楽しい」「参加したくなる」支部にするにはどうすれば良いかについて、本部支部一体となって知恵を出し合おうではありませんか。

最後は、陵水 100 周年への対応です。2023 年に彦根高商創立 100 周年を迎えます。この大きな節目をわれら全員でその喜びを分かち合うだけでなく、第二世紀に向けて新たな扉を拓く絶好のチャンスとして把え、次世代・若手・現役組にとっても夢が持てる未来志向の記念事業を心をひとつにして展開しようではありませんか。100 周年については別途ご相談申し上げます。